

とほ市議会だより

第142号



家(や)・宝(ほ)・波(は)

宝の波が打ち寄せる

今年もよろしくお祈いします!



試験運用を
始めました。

市議会の情報をお届けします。
QRコードをLINEアプリで
読み取って友だち登録を
してください。

LINEアカウント名: @tobacitycouncil



目次

- 第4回 定例会 (12月3日~12月21日)
- ◆議案質疑…………… 2
 - ◆各常任委員会…………… 2~4
 - ◆審議した案件と結果…………… 5
 - ◆一般質問…………… 6~9
 - ◆編集後記・クイズ…………… 10

「12月議会報告」

専決処分した事件の承認について
 (平成24年度鳥羽市一般会計補正予算(第3号))など議案17件を審議しました。



USTREAM

YouTube

市議会では、USTREAM(ユーストリーム)やYouTube(ユーチューブ)による市議会インターネット放送を実施しています。生放送及び録画放送は、パソコンだけでなくスマートフォンやタブレット端末*からアプリにより視聴できます。視聴方法等については市議会ホームページをご覧ください。

※パケット通信料がかかります。

議案質疑

地域分権一括法の認識は

市長 地方に合致する

戸上 健

地域主権改革大綱の中心点は何ですか。

総務課長 地域住民みずからの判断と責任で地域の課題に取組むことです。

その理念にならっているか吟味しなければなりません。一括法で今後決めなければならぬ条例数は何本ありますか。

総務課長 一次で42法律、二次で188法律あります。

市町村がみずから決めなければなりません。鳥羽の新しい独自性を盛り込んだ制定が必要です。

補正予算の主なものは—

- 地域介護・福祉空間整備等事業 2,336万円
- 障害者生活介護施設整備事業 4,672万円
- 保育所施設整備事業 6,020万円
- 遷宮対策事業 587万円
- 高校生修学支援事業 287万円

常任委員会報告

各常任委員会に15議案が付託されました。

予算決算委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

(議案第52号 平成24年度鳥羽市一般会計補正予算(第4号) 歳入第18款繰入金)

問 この基金を利用する事業の決まりはあるのか。

答 観光基本計画のアクションプログラムにある事業を優先して充当している。

(歳出第3款民生費)

問 地域介護・福祉空間整備等事業の10人乗り車両購入は25年度からの移動支援事業のためか。

答 バスの空白地域であり、高齢者や障がい者の外出支援の充実を図る為、要望も多かった白木及び河内地区を試験的に定期バス方式で実施するもので、今年度にその車両を購入する。

問 全国的に生活保護の不正受給が問題になっているが、追跡調査は行っているのか。

答 保護受給後も定期的
に訪問や収入について聴
き取り調査を行っている。
(歳出第6款商工費)

問 鳥羽市開発公社の松
尾第2工業団地造成費借
入利息に対する補助金で
借入利率が下がったとの
説明だが、具体的な節約
額は。

答 元金3億5000万
円に対し、利率が0.40
5%低くなったことで約
141万7000円減額
できた。

問 遷宮対策事業を実施
することで集客力と経済
波及効果の目途は。

答 把握し難いが、個人
型の目標5千人で125
0万円、JR東海とのタ
イアップの目標5000
人で7150万円、大学
とのタイアップの目標5
00人で190万円、ネ
ット系列の目標1500
人で3000万円となり、
総数で約1万2000人、
総額で約1億3000万
円の効果を見込んでいる。

(歳出第9款教育費)

問 高校生就学支援事業
を受給するには市税等を
完納していることと説明
があったが、確認方法は。
また、申請場所は。

答 申請者の負担を軽減
するため、承諾書を貰っ
て各課に確認する。申請
は各連絡所と教育委員会
を予定しているが、1月
1日号の広報とばで周知
する。

(歳出第11款公債費)

問 地方債の借入利率は
どれくらいか。

答 借り方によって異な
り、過疎債で1%以内、
大きくても1.5%以内で
ある。

(議案第55号 平成24年
度鳥羽市定期航路事業特
別会計補正予算(第1
号))

問 きらめきの定期検査
に伴う整備費用でクラッ
チはメーカー委託となっ
ているが、市内業者で整
備が出来ないと予想して

いなかったのか。

答 他の整備は市内又は
近隣の業者で出来るので、
予想していなかった。

総務民生委員会

審査の主な内容は、次
のとおりです。

(議案第61号 鳥羽市職
員給与条例の一部改正に
ついて)

問 55歳を超える職員の
昇給を抑制すること
だが、課長級が対象とな
るのか。

答 55歳を超えて60歳ま
でなので主に課長級が対
象となる。

問 年間でどれくらいの
影響額になるのか。

答 市全体で対象者は32
名、今回補正額の1月分
から3月分で約18万円、
年間で約72万円になる。

(議案第62号 鳥羽市市
税条例の一部改正につい
て)

問 今回の改正により、
市民に不利益はないのか。

答 市民税の申告が簡素
化されることや下水道除
害施設に係る固定資産税
の課税標準額を軽減する
改正なので、市民に不利
益はないが、対象者も少
ない。

問 軽減割合を定めるに
あたって3/4を参酌し、
2/3から5/6の範囲
内で定めたと説明があつ
たが、モデルはあるのか。
また、県内各市の状況は。

答 現在、該当する下水
道除外施設がないので試
算していない。県内の各
市はほとんどが3/4で
定めており、一部2/3
がある。

(議案第63号 鳥羽市国
民健康保険条例の一部改
正について)

委員から「国保運営協
議会委員の定数を減らす
こと」によって運営上、支

障をきたすことはないの
か」や、「葬祭費の6万
円を5万円に減額するの
は、高校生就学支援事業
等他市に先駆けて善政を
実施してきた鳥羽市にと
って減額すべきでない」
などの意見が出され、各
委員の意見を確認しまし
た。結果は、賛成多数で
可決しましたが、多くの
時間をかけて審査し、一
部の委員から改正反対の
強い意見がありました。

(議案第66号 鳥羽市防
災会議条例及び鳥羽市災
害対策本部条例の一部改
正について)

問 防災会議の委員数を
25名から35名に増やすメ
リットは何か。

答 広く意見を聞くこと
が出来る。

問 自主防災組織と学識
経験者から4名が参画す
るのか。

答 次回の委嘱から女性
代表委員も2名を考えて
いる。

この他、議会報告会で意見のあった「備蓄倉庫内の備蓄品一覧表掲示」や「防災ラジオの防災無線が聞こえない」という市民が多いので、こうしたら聞こえるというような説明をすべき」点などを報告し、早急な対応を指示しました。また、鳥羽東中学校近くに建設中の障がい者生活介護施設も現地視察しました。

文教産業委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

（議案第58号 鳥羽市が管理する市道の構造の技術的基準等を定める条例の制定について）

問 条例第4条に高齢者障がい者等の移動等円滑化のために必要な市道の構造に関する基準は規則で定めると書かれているが、建設課でどう対応していくのか。

答 今回、地方分権一括法により道路法の内容を市に降ろして条文化している。細かい部分は別途市の規則で定めていく。

問 説明では国の基準を参酌し、市独自で定めていくとのことだが、独自部分はどうか決めたのか。

答 基本的に国の基準と大きな違いはないが、各市町により道路の状況が異なるので、本市においては、国の基準を定める

項目を一部削除して現状に合わせている。

審査終了後、委員会ではまず、文化財保護事業で行っている旧広野家住宅改修工事の進捗状況を現地視察しました。その際、文化財専門員から文化財建造物である建物の歴史や修理手法などについて、詳細な説明を受けました。

次に、かもめ幼稚園を現地視察し、教育長や園長と意見交換をしました。まず、現在はお弁当であるが、保護者からも要望のある給食の導入について委員から「週二回でも導入してみてもどうか」との意見や「家庭環境の変化もあるので保護者にアンケートをとってみてほしい」との要望がありました。

次に、議会報告会並びに意見交換会でも多数の地区で質問や要望のあった、安楽島保育所の高台移転に伴うかもめ幼稚園のあり方について委員から「幼稚園は耐震化されており、避難訓練も実施していることは承知しているが、保護者を含む市民から心配する声が出て

いる以上、安楽島保育所移転との整合性を考えて高台へ移転すべきではないか」との意見や「これから子どもが減少していくなかで、新たに幼稚園だけの移転は市の財政負担上からも考えにくい。建物も築35年を経過しているの、この際、伊勢市や志摩市でも導入している幼保一体型の施設として、安楽島保育所の設計に入る前に早急に検討すべきである」との意見が相次ぎました。この件に関しては、本委員会としても引き続き先進自治体の事例等を研究し、議論していく事としました。

委員会行政視察

議会運営委員会では、次のとおり行政視察を行いました。

視察日 10月18日～19日
視察先 奈良県生駒市

（決算審査における事業評価について）、兵庫県芦屋市（災害時の市議会災害対策本部設置について）

視察日 12月27日
視察先 三重県四日市市
（通年会期制について）

委員会行政視察

総務民生委員会では、次のとおり行政視察を行いました。

視察日 10月30日～31日
視察先 長野県大町市（災害時相互応援協定について）、長野県上田市（上田市自治基本条例について）



長野県大町市役所を視察



旧広野家住宅を視察



四日市市議会を視察



討論

戸上 健 議員

《 反対 》

○議案第63号 鳥羽市
国民健康保険条例の一
部改正について

人事

固定資産評価審査委
員会委員の選任に同意

上村 昌芳 氏

平成24年 第4回定例会 議員別表決結果

○：賛成 ×：反対 -：欠席もしくは棄権

議案番号	議案名	議決日	審議結果	戸上 健	中世古 泉	井村 行 夫	松井 一 弥	浜口 一 利	木下 爲 一	坂倉 広 子	世古 安 秀	橋本 真一 郎	坂倉 紀 男	村山 俊 幸	山本 泰 秋	野村 保 夫	寺本 春 夫
51	専決処分した事件の承認について (平成24年度鳥羽市一般会計補正予算(第3号))	12月3日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
52	平成24年度鳥羽市一般会計補正予算(第4号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
53	平成24年度鳥羽市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
54	平成24年度鳥羽市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
55	平成24年度鳥羽市定期航路事業特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
56	平成24年度鳥羽市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
57	平成24年度鳥羽市水道事業会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
58	鳥羽市が管理する市道の構造の技術的基準等を定める条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長につき表決なし	○	○	○	○
59	鳥羽市営住宅及び共同施設の整備基準に関する条例の制定について	12月21日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
60	鳥羽市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
61	鳥羽市職員給与条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
62	鳥羽市市税条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
63	鳥羽市国民健康保険条例の一部改正について		可決	×	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
64	鳥羽市小集落改良住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
65	鳥羽市営住宅管理条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
66	鳥羽市防災会議条例及び鳥羽市災害対策本部条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
67	固定資産評価審査委員会委員の選任について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○

自然エネルギー対策を

市長 非常に大切です

企画財政課長 太陽光と蓄電システムを検討したい。

水力、風力、地熱、バイオは全く進んでいません。太陽光も住宅で280KWに過ぎません。離島の独立電源はどうですか。

環境課長 進んでいるのは太陽光のみです。

策定後、鳥羽の自然エネルギー再生可能エネルギーである太陽光、風力、水力、地熱、バイオはどこまで進んでいますか。

環境課長 していません。

原発ゼロをめざして自然エネルギーの強化が求められています。市が7年前に策定したビジョンには「新エネルギー推進庁内会議」で進めるとあります。開催しましたか。

戸上 健



市内で回るハイブリッド型
小型風力発電機

市長 再生可能エネルギーの活用は非常に大事です。木材をエネルギーの柱にできないか今後考えていきたい。

市長の評価は。

総務課長 メガソーラー設置を検討しています。

鳥羽の公共施設の太陽光発電ポテンシャルはどれだけありますか。

観光課長 観光資源の保護と活用を進めるエコツーリズムを推進したい。

観光対策上どうですか。

防災担当副参事 避難所などへ推進していきたい。

防災対策ではどうか。

副市長 離島振興計画に明記していきたい。

新しい離島振興計画でのミッションは。

中之郷での荷物取扱いについて

定期船課長 アルバイトで荷物取扱いを検討

定期船課長 佐田浜地区での繁忙期における交通渋滞の影響で、マリントーナールの荷物取扱いに支障が出る場合の対応は、提案がありました学生アルバイトの採用など、短期間・短時間の対応には効果的であると思いますので、指示できる職員の配置も含め、実現の可能性について検討してみます。



定期船の荷物取扱い

中之郷基地においての荷物の取扱いについて、夏の繁忙期に学生アルバイトを雇用することにて対応する考えはありませんか。

橋本真一郎



高潮水害の対策は

市長 安くて移動式の簡易ポンプを検討

市長 今回の高潮は、調査を始めてから、1メートルの潮位を観測したことは、六十数年間で初めての事から、今まで予防対策をしていなかったことは事実です。中之郷と同じポンプを設置するには数十億円の費用が掛かります。今後、排水路から逆流しないための弁や、防潮堤を設置し、安くて移動式の簡易ポンプを検討しています。

台風17号での冠水地区は、想定外の自然災害高潮、大潮、低気圧が重なり起こった事とされていますが、下水排水路からの逆流とされている所が多く、防潮扉、水門がその役目を果たせなかった事について、今後の対策をききます。

井村行夫



ミキモト真珠島横の排水路

健康福祉課長 市災害見舞金支給規則は、昭和37年に施行され6回の改正が行われ、現在の金額は昭和52年であり、規則では、住宅の全焼で5万円半焼で3万円と規定しておりますことから、これらの金額とのバランスを含め、金額が妥当であるか、近隣の水準と比較検討を行いたいと思います。

床上冠水した住宅は、市災害見舞金1万円が支給されますが、災害で畳の交換、床の張替えや浄化槽の汲み取り等の費用が重なります。冠水した世帯の再建に考慮した制度の見直しは。

新ごみ処理施設の完成は

環境課長 平成26年4月1日から稼働

環境課長 これまでと同じです。ただ、海上と陸上運搬となりますので収集日数の変更

既存の施設は供用停止となりますが、答志島清掃センターがそうなることすべて海上運搬となります。島内の収集方法など全く変わってしまうのですか。

環境課長 これまでと同じで指定ごみ袋料金上げはありません。分別方法は変わらないうよう調整していきますが、持込み料金は高くなる可能性があります。

日量95トンの処理が出来るごみ焼却施設とリサイクルセンターがあり、能力の高い施設ですが、日々のごみ処理はこれまでと同じなのか、分別方法、料金は変わらないのですか。

浜口一利



定期船課長 かねてから言われてきました小型船導入について検証していますが、更に具体的に調査をしていきます。

離島人口減に伴い利用者数減少となつていますが、小型船導入など利便性を低下させない運航体制の構築も必要ではないですか。

定期的な定期航路事業を
あらゆる可能性を
検討しています

定期的な定期航路事業を



鳥羽志勢広域連合ごみ処理施設

と、事業者の皆様につきましても、新たな経費負担が生じてきますが本土との公平性を図りながら軽減を考えていきます。すべて鳥羽志勢広域連合で協議中ですので詳細が確定次第、各地域に説明に行きます。

消防署移転を機に救急体制強化を

市長 救急分署の設置、検討してみたい

山本泰秋



去る（去年）2月の臨時議会で、「消防本部庁舎」を、海抜37mの高台鳥羽東中学校横へ移転する計画が打ち出されましたが、進入路となる大明地区の大震災時の「液化・津波」等による孤立化の問題、（学校横）騒音問題等、また、一方、日常の救急体制はどうか等々の意見が出され、議会としても、消防庁舎移転の必要性は認めながら、もう少し「議会での議論」「市民からの意見聴取」などが必要、ということ、議案には賛成するものの「付帯決議」を付けさせて頂きました。そこで、今回は、「議論喚起」も含めて、大きくは2点質問しました。一点目は、移転計画地で大規模災害時に消防本

で大規模災害時に消防本部として機能できるかという視点で、大明地区の液化化、津波による水没等、地盤のボーリング調査資料、堤防高の現状データ等も示しながら、強く指摘をしました。

もう一点は、この消防庁舎の移転を機に、遅れている「救急搬送体制」の強化を図るべきということで、本部庁舎は大規模災害時にも強い場所へ移転し、有効な場所に「救急分署」を設置してはどうですか。（具体事例を挙げ提案しました。）

市長 いただいた提案は、こちらの方でも検討させて頂きたい。



矢印が「消防庁舎」移転計画地

高齢者のひとり暮らしの対策は

健康福祉課長 あんしん身守りネットワークで

坂倉広子



2010年国勢調査の抽出速報で、ひとり暮らし世帯が最も多い家族形態となったことが明らかになりました。地域ぐるみで高齢者を見守る仕組みが必要だと考えます。ひとり暮らしの見守りについてききます。

健康福祉課長 各地域の民生委員、児童委員、見守り協力委員や地域の金融機関、商店など協力店の協力により、あいさつなどの声かけや安否確認、鳥羽郵便局の協力を得て、あんしん声かけサービスと「お元気おたより便」配達時に声かけなど身体状況や生活環境に合わせ、緊急通報装置の設置、配食サービスなど、さまざまなサービスの提供、支援体制の充実に努めています。

乳幼児を連れた保護者の

方が安心して外出できる環境整備として、公共施設等授乳やおむつ替えのスペースを確保する赤ちゃんの駅事業の進捗状況は。

健康福祉課副参事 本市の子育て応援キャラクターを利用したステッカーなど設置場所の表示、赤ちゃんの駅事業名称を考案、市内の事業所にも協力をお願いし、人目を気にせず授乳が出来る環境整備を検討します。

※胃がん予防（胃がんリスクABC検診）についても質問しました。



埼玉県富士見市赤ちゃんの駅

市長の決断の方向性と時期は

市長 できるだけ早い時期に方向性を

総務課長 1点目、新たな緑化工法を検討する必要があり、緑化業者の選択には積極的に関与すべき。

2点目、跡地の活用について、市民が参加できる勉強会の設置が必要。同時に、検討会を設置し、具体的な跡地利用を検討すべき。

3点目、所有権と入会権について、市と菅島町内会との合意形成を要望。

4点目、協定書及び土石売買契約書について、緑化工を完成させるための延期は止むを得ない。また、採石事業の継続を希望する意見もあった。

5点目、関係機関の役割

菅島採石場の緑化復元及び採石場跡地の活用については、緑化復元を含めた7項目の提言がされていますが、その内容は、

寺本春夫



大野会長から鳥羽市長へ提言書を提出

市長 緑化計画の期限も近づいており、できるだけ早い時期に、できるだけ多くの方が納得していただける方向性をしっかりと考えていきたい。

この提言を受けて、市長の決断する時期については、

の明確化について、市からの提案を要望。

6点目、国際観光文化都市として、早急な景観計画の策定を要望。

7点目、地元町内会は、跡地利用を想定した採石を行うことの決議をしており、決議の重視を要望。以上の7点です。

第7回 マニフェスト大賞の

前回の
優秀コミュニケーション賞
に続き、

審査委員会特別賞を受賞！



平成24年11月2日に六本木ヒルズで行われました第7回マニフェスト大賞※1の授賞式におきまして、鳥羽市議会は昨年引き続き審査委員会特別賞を受賞しました。市議会は今後も積極的な情報発信に取り組んでいきます。



※1 マニフェスト大賞とは…マニフェスト大賞はこれまで注目を集めることの少なかった地方自治体の首長、議員や地域主権を支える市民の活動実績を募集・表彰し、発表することで、地方政治で地道な活動を積む人々に名誉を与え、更なる政策提言意欲の向上につながることを期待するものです。

詳しくは、マニフェスト大賞ホームページ<http://www.manifestoawards.jp/>をご覧ください。

平成25年 3月定例議会(予定)

- 本会議開会2月25日(月)
- 一般質問3月1日(金)～5日(火)
- 議案質疑3月6日(水)
- 予算決算常任委員会3月7日(木)～13日(水)
- 総務民生常任委員会3月14日(木)
- 文教産業常任委員会3月15日(金)
- 本会議閉会3月22日(金)

※会議日程は変更する場合があります。

あなたも議会を
傍聴して
みませんか

市議会では、本会議やその他全ての会議を公開しています。傍聴希望の方は市役所本庁舎3階の議会事務局までお越しください。



(トーパトパティと恋する鳥羽観光PR隊の皆さん)

クイズ

(○の部分に当てはまる言葉を
お答えください)

- 問1** 一般質問した議員は○人?
(ヒント: 8人ではありません)
- 問2** 文教産業委員会が視察したのは旧○○家住宅?
(ヒント: 写真のタイトルをご覧ください)
- 問3** 鳥羽市議会が受賞したのは第○回マニフェスト大賞?
(ヒント: 前ページ下段の記事をご覧ください)

▼応募方法 官製はがきに答え・住所・氏名・年齢・電話番号を明記してお送りください。

正解者の中から抽選で10人の方に図書カードをプレゼントします。

▼あて先 〒517-0011 鳥羽市鳥羽3丁目1-1 鳥羽市議会事務局

▼締切り 平成25年2月28日(当日消印有効)

▼回答と当選者は第143号でお知らせします。

※はがきにご記入いただいた個人情報については目的以外には一切使用いたしません。また、市議会へのご意見があれば、あわせてお寄せください。

編集後記



「とば市議会だより」
編集委員会

とば市議会だより第142号をお届けします。昨年の議会報告会では皆様にはたくさんのご参加、また、ご協力とご理解を頂き心よりお礼申し上げます。

新年を迎え、私たち編集委員も皆様にもっと親しまれる紙面づくり、市議会だよりとして今後と

も一層の努力を重ねて参りますので、ご意見、ご感想を編集委員会(議会事務局)までお寄せ下さい。

最後に、皆様にとりまして素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

記 坂倉 広子

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	委員長
坂倉	坂倉	木下	松井	中世古	井村	山本	山本
紀男	広子	為一	一弥	泉	行夫	泰秋	泰秋